



# ファイル共有をスキャンしています

## Cloud Manager

Tom Onacki  
June 06, 2021

# 目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| ファイル共有をスキャンしています .....   | 1 |
| クイックスタート .....           | 1 |
| ファイル共有の要件の確認 .....       | 1 |
| ファイル共有のグループを作成します .....  | 2 |
| グループへのファイル共有の追加 .....    | 2 |
| 準拠スキャンからのファイル共有の削除 ..... | 4 |

# ファイル共有をスキャンしています

NetApp 以外の NFS または CIFS ファイル共有を Cloud Data Sense で直接スキャンするには、いくつかの手順を実行します。これらのファイル共有は、オンプレミスでもクラウドでもかまいません。

## クイックスタート

これらの手順を実行すると、すぐに作業を開始できます。また、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認することもできます。

ファイル共有の前提条件を確認する

CIFS（SMB）共有の場合は、共有にアクセスするためのクレデンシャルがあることを確認しておきます。

**Cloud Data Sense** インスタンスを導入する

["クラウドデータの導入センス"](#) インスタンスが展開されていない場合。

ファイル共有を保持するグループを作成します

このグループは、スキャンするファイル共有のコンテナであり、これらのファイル共有の作業環境名として使用されます。

ファイル共有を追加します

スキャンするファイル共有のリストを追加します。一度に最大 100 個のファイル共有を追加できます。

## ファイル共有の要件の確認

Cloud Data Sense を有効にする前に、次の前提条件を確認し、サポートされている構成であることを確認します。

- 共有は、クラウド内やオンプレミスなど、どこでもホストできます。ネットアップ以外のストレージシステム上のファイル共有です。
- データセンスインスタンスと共有の間にネットワーク接続が必要です。
- これらのポートが Data Sense インスタンスに対して開いていることを確認します。
  - NFS –ポート 111 および 2049。
  - CIFS の場合 - ポート 139 および 445
- 追加する共有のリストは、「<host\_name> : /<share\_path>`」の形式で指定する必要があります。共有は個別に入力することも、スキャンするファイル共有の行区切りリストを指定することもできます。
- CIFS（SMB）共有の場合は、共有への読み取りアクセスを提供する Active Directory クレデンシャルがあることを確認します。管理者クレデンシャルが推奨されるのは、Cloud Data Sense で管理者権限が必要なデータをスキャンする必要がある場合です。

# ファイル共有のグループを作成します

が必要です "Cloud Manager に Cloud Data Sense のインスタンスをすでに導入している"。

ファイル共有を追加する前に、「 group 」というファイル共有を追加する必要があります。グループはスキャンするファイル共有のコンテナであり、グループ名はそれらのファイル共有の作業環境名として使用されます。

同じグループ内に NFS 共有と CIFS 共有を混在させることはできますが、1つのグループ内のすべての CIFS ファイル共有で同じ Active Directory クレデンシャルを使用する必要があります。異なるクレデンシャルを使用する CIFS 共有を追加する場合は、一意のクレデンシャルセットごとに個別のグループを作成する必要があります。

## 手順

1. [ 作業環境の構成 ] ページで、[ \* データソースの追加 > ファイル共有グループの追加 \* ] をクリックします。



2. [ ファイル共有グループの追加 ] ダイアログで、共有グループの名前を入力し、[ 続行 ] をクリックします。

新しいファイル共有グループが作業環境のリストに追加されます。

## グループへのファイル共有の追加

ファイル共有グループにファイル共有を追加すると、これらの共有内のファイルが Cloud Data Sense によってスキャンされます。共有は、「 <host\_name> : /<share\_path>` 」の形式で追加します。

個々のファイル共有を追加することも、スキャンするファイル共有を 1 行で区切って指定することもできます。一度に最大 100 個の共有を追加できます。

NFS 共有と CIFS 共有を 1 つのグループに追加する場合は、NFS 共有を追加してから CIFS 共有を再度追加するまで、このプロセスを 2 回実行する必要があります。

## 手順

1. 作業環境ページで、ファイル共有グループの \* 構成 \* ボタンをクリックします。



2. このファイル共有グループのファイル共有を初めて追加する場合は、\* 最初の共有を追加 \* をクリックします。



ボタンを

示すスクリーンショット。"]

既存のグループにファイル共有を追加する場合は、\* 共有の追加 \* をクリックします。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

3. 追加するファイル共有のプロトコルを選択し、スキャンするファイル共有を 1 行に 1 つ追加して、「\* Continue \*」をクリックします。

CIFS (SMB) 共有を追加する場合は、共有への読み取りアクセスを提供する Active Directory クレデンシャルを入力する必要があります。admin クレデンシャルが優先されます。

## Adding Shares

Directly add any NFS or CIFS (SMB) File Shares, located in the cloud or on-premises.

**Select Protocol**

You'll be able to add additional shares from the other protocol later.

☒ NFS
 ☐ CIFS (SMB)

**Type or paste below the Shares to add**

Provide a list of shares, line-separated. You can add up to 100 at a time (you can add more later).

Hostname:/SHAREPATH  
 Hostname:/SHAREPATH  
 Hostname:/SHAREPATH

☐ NFS
 ☒ CIFS (SMB)

**Provide CIFS Credentials** ⓘ

Username ⓘ 
 Password

追加された共有の数が確認ダイアログに表示されます。

ダイアログに追加できなかった共有が表示された場合は、問題を解決できるようにこの情報を記録しておきます。修正したホスト名または共有名を使用して共有を再追加できる場合があります。

Cloud Data Sense によって、追加したファイル共有内のファイルのスキャンが開始され、その結果がダッシュボードやその他の場所に表示されます。

## 準拠スキャンからのファイル共有の削除

特定のファイル共有をスキャンする必要がなくなった場合は、個々のファイル共有を削除して、ファイルがいつでもスキャンされるようにすることができます。[ 構成 ] ページで [ 共有の削除 ] をクリックします。

### 'Working Environment Name' Configuration

2/22 Shares selected for compliance scan

| Share name | Protocol | Status         | Required Action     |
|------------|----------|----------------|---------------------|
| Sharepath1 | NFS      | ● Not Scanning | Add new credentials |

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.